



グループ全体でCSR経営を推進し、
社会から信頼され、
社会に継続的に貢献できる
コスモ石油グループをめざします。

コスモ石油株式会社
代表取締役社長 社長執行役員

森川 桂造

**コスモ石油グループにおける
CSR経営と2014年度の振り返り**

コスモ石油グループでは、5ヵ年計画である「第5次連結中期経営計画」の基本方針として、「CSR経営の推進」を掲げています。企業として、収益力向上と持続可能性の追求は必要不可欠ですが、CSR経営は、そのための企業活動の土台となる部分だと考えています。

コスモ石油グループでは、CSR活動方針(2013年度～2017年度)として5つの重点項目を設定し、CSR経営の推進に取り組んでまいりました。詳細はP17以降に報告させていただいておりますが、2014年度の主な取り組みを紹介させていただくと、最重点項目のひとつである「安全管理施策の徹底」は、製油所部門では製油所安全改革委員会が旗振り役を担い、現場主体で課題を抽出し改善を図ってまいりました。私自身も毎月製油所を訪問し、現場の社員と直接対話を重ね経営者としての安全への熱意を伝えるとともに、現場の声を聞き現場の苦勞と工夫を共有してまいりました。また、安全は製造部門だけではなくグループ全体で意識をするものとし、「安全スタンダード」を設定し、グループ一丸で取り組みました。もうひとつの最重点項目

は、「誠実な業務遂行」です。社員のとるべき行動と意識を定めた「コスモ石油グループ企業行動指針」を時代の変化に合わせ、見直しを行いました。行動指針をまとめた冊子を一新し、企業倫理研修会で内容の周知と共有を図っております。また、「人権・人事施策の充実」として、ワークライフバランス推進のために長時間労働の削減および時間あたりの生産性向上に取り組んでいます。2015年度も引き続き、各重点項目のテーマに真摯に取り組み、グループ全体でCSR経営の推進を行ってまいります。

**持株会社への移行と、
ガバナンスの強化**

コスモ石油グループは、2015年10月に持株会社へ移行することとしました。今後も持続的な成長を遂げ、グループ全体を俯瞰して経営資源の最適配分を行うことによる事業単位での競争力強化を図るため、持株会社ならびに資源開発事業会社、供給事業会社、販売事業会社の3つの事業会社を中心とした体制を予定しています。現在、経営資源が集中している石油精製・供給事業を中心に徹底的な合理化・効率化を推進するとともに、資源開発事業、リテール事業、風力発電事業を成長ドライバーと位置づけ、経営

資源のシフトにより「グローバルな垂直型一貫総合エネルギー企業」として国際的な競争力を高めます。

また、2015年度は日本のコーポレートガバナンスを取り巻く状況が大きく変わる年ですが、コスモ石油グループにおいても、持株会社体制への移行を機に、監査等委員会設置会社に統治形態を変更することとしました。すでにIPIC*1社より2名の社外取締役を迎えていましたが、2015年度は、さらに他業界からも2名の社外取締役を迎え、多角的な意見を経営に採り入れます。新コード*2への対応、遵守はもちろんですが、会社の透明性を高めて説明責任を果たすとともに、「攻め」のガバナンスを実現していきます。

*1 IPIC：International Petroleum Investment Companyの略で、国際石油投資会社のこと。中東産油国UAE（アラブ首長国連邦）第一の首長国・アブダビが全額出資する政府系ファンド。

*2 新コード：コーポレートガバナンス・コードおよびスチュワードシップ・コード

●●● 社会に継続的に貢献できる企業に

コスモ石油グループは、2006年より国連が提唱する「グローバル・コンパクト」に参加しており、人権・労働基準・環境・腐敗防止など基本原則に則った取り組みを推進しております。この基本原則は、2014年度に刷新を図った「コスモ石油グループ企業行動指針」にも通じており、すべての従業員がとるべき行動と意識として共有しております。コスモ石油グループのもっとも重要な使命は、社会に対して人々の命と生活にかかわるエネルギーを安全・安定的に供給することです。2015年度も、この使命を継続的に果たし、社会から信頼され、社会に貢献できるコスモ石油グループをめざしてまいります。

持株会社体制移行について

コスモ石油は、安定的な配当、最適な経営資源配分、柔軟かつ迅速なアライアンス戦略（協業・共同・統合）の実現をめざし、持株会社体制に移行します。

持株会社（コスモエネルギーホールディングス（株））設立時点（平成27年10月1日予定）では、コスモ石油が持株会社

の唯一の直接の子会社となります。その後、平成28年1月1日を予定日として、コスモ石油とともに、コスモエネルギー開発（株）、コスモ石油マーケティング（株）の中核事業会社3社を、持株会社の傘下とする再編を行い、持株会社体制への移行を完了いたします。

持株会社体制へ移行して当社グループの企業価値の最大化へ （単独株式移転の方法による持株会社「コスモエネルギーホールディングス株式会社」の設立）

持株会社体制がめざすもの（目的）

- ① 事業競争力の強化と持株会社の収益安定化
- ② グループ経営強化と経営資源シフトの加速
- ③ 事業ごとのアライアンス推進

